MITSUBISHI
Changes for the Better

（生産 No.1201）

2012 年 4 月 17 日
三菱電機株式会社

生産時と製品使用時の双方で取り組みを強化し「CO_2 削減貢献量の拡大」を目指す

三菱電機グループ「第 7 次環境計画」を策定

三菱電機株式会社は、三菱電機グループの環境経営における長期ビジョン「環境ビジョン 2021」※1 の実現に向けた、2012 年度から 2014 年度までの 3 年間の活動計画「第 7 次環境計画」を策定し、4 月から開始しました。

生産時と製品使用時の双方で取り組みを強化し「CO_2 削減貢献量※2 の拡大」を目指します。

※1　URL：　http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/eco/plan/vision2021/
※2　旧製品から省エネルギー性能の高い新製品への置き換えで削減できたと見なす CO_2 の量

「第 7 次環境計画」で推進する項目と主な指標

1．低炭素社会実現に向けた取り組み

・製品の省エネ性能を向上させ、製品使用時の CO_2 排出量を 2000 年度比で平均 27%削減（対象 84 製品）
・生産時の CO_2 排出量を売上高原単位で 2010 年度比 83%に改善（12.1 万トンの CO_2 削減に相当）
・2014 年度末までに太陽光発電能力として国内グループ累計で 14,100kW（キロワット）を確保（新たに 6,400kW 分を導入）
・国内全ての大口契約拠点（契約電力 500kW 以上、グループ合計 68 拠点）へデマンド監視システムを導入することで、ピーク使用電力を統合管理するとともに、高効率な空調機器への入れ替えなどの節電策を推進することで、CO_2 削減を推進
・CO_2 以外の温室効果ガス（SF_6、PFC、HFC）※3 を 2005 年度比 70%削減（CO_2 換算）

※3　SF_6：六フッ化硫黄、PFC：パーフルオロカーボン、HFC：ハイドロフルオロカーボン

2．循環型社会形成に向けた取り組み

・発生した廃棄物の分析と分別の徹底を推進し、事業所における最終処分率低減を推進（当社：0.1%未満を維持、国内関係会社：0.1%未満、海外関係会社：1.0%未満）
・製品の小型・軽量化により、資源投入量を2000年度比39%削減
・レアアース磁石回収やリサイクル材の適用拡大など、製品3R※4の推進

※4　Reduce（廃棄物の発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再資源化）

3．環境経営基盤の強化と環境関連事業の拡大

・省エネ、廃棄物管理、公害防止などの専門スキルを持って、グループ全社の指導にあたる「環境エキスパート」を育成し、環境管理体制を強化。また、地域社会と協力した自然保護活動をグローバルに展開
・欧州 RoHSⅡ、REACH などの製品含有化学物質規制への対応を強化
・スマートグリッド・スマートコミュニティ関連製品などで、リサイクル材の適用や省エネ性能などを含め、革新的に高い環境性能を持つ製品を創出し、グローバルで環境関連事業を拡大

「第 7 次環境計画」の背景

三菱電機グループでは、1993 年から 3 年ごとに具体的な活動目標を定めた「環境計画」を策定し、環境経営の向上に取り組んでいます。2009 年から取り組んだ「第 6 次環境計画」では、生産時に排出される CO2 を 10.3 万トン削減するなど、各活動項目で目標を達成する見込みです。

「グローバル環境先進企業」を目指し、これまでの成果、節電対策で培った運用実績とノウハウおよび電力供給問題などの社会情勢の変化を踏まえて「第 7 次環境計画」を策定し、4 月から開始しました。

報道関係からのお問い合わせ先	〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号　TEL03-3218-2332　FAX03-3218-2431 三菱電機株式会社　広報部